

発行日：2003年6月30日（ほぼ月刊）

発行：中野区区長室基本構想担当

〒164-8501東京都中野区中野4-8-1

電話03-3228-5572

☆メールマガジンや基本構想改定に関するご意見・ご連絡は下記アドレスへ  
kiahonkoso@city.tokyo-nakano.lg.jp

☆メールマガジンのバックナンバーをご覧になりたい方はこちらへ

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kousou/magazine.html>

☆現在の中野区基本構想（昭和56年制定）をご覧になりたい方はこちらへ

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kikaku/kg028.html>

---

#### ■もくじ

- ◇ 動いています！ 区民ワークショップ
  - ◇ 【ひとこと解説】「指標」って？
  - ◇ 最新情報コーナー
  - ◇ 傍聴案内
  - ◇ 編集後記
- 

#### ■動いています！ 区民ワークショップ

3月に発足した「基本構想を描く区民ワークショップ」は、区民のみなさん145人が集まり、基本構想に盛り込むべき内容について検討を重ねています。今回は、この区民ワークショップの活動をご紹介します。

3月の全体会と4月のオリエンテーションをへて、現在は4つの分野に分かれて、それぞれ月2回ずつ会合を開いて検討を進めています。また、各分野の調整を図る場として、リーダー・サブリーダー（全員で15人）による調整会議を随時開催しています。

区民ワークショップは、平成16年2月までに基本構想に盛り込むべき内容を提案にまとめ、基本構想審議会へ提出する予定になっています。

分野は次の4つです。

- (1) 持続可能な活力あるまちづくり（第1分野）
- (2) 自立してともに成長する人づくり（第2分野）
- (3) 支えあい安心して暮らせるまち（第3分野）
- (4) 新しい自治のあり方（第4分野）

☆第1分野は、班に分かれてテーマ別の分析を深めています

第1分野は、6月末までに6回の会合を開催し、いずれも30人ほどの方が参加しています。

まちづくりA班、まちづくりB班、環境班、消費者・勤労者・地域産業班の4班に分かれて、現在の問題は何か、将来どうあるべきかなどのお話し合いを続けています。

#### 【おもな内容】

(1) 5月20日にリーダー1人・サブリーダー3人が決定しました。6月7日には書記も決まっています。

(2) 毎回、各班での討議を中心とし、後半ではその討議内容を全員の前で発表し、各班から意見・質問をだして意見交換を行っています。第6回目からは組み合わせを変えながら4つの班を2つに統合し、異なる視点から議論を深めています。

(3) 各班の主な討議内容

・まちづくりA班：基本構想の構築については「行政が行うこと、行政と区民が行うこと、区民が行うことの三本立てで構築したい」という提案が出ています。そのほか、狭あい道路、商業系用途指定の土地利用、住み続けられるまち、中野の商業などについての意見も出ています。

- ・まちづくりB班：いくつかでた提案の中から、中野駅周辺をどう改善していくかについてを中心に討議を進めています。中野駅と南北の駅前広場の再整備、警大跡地とサンプラザを含めた整備など、何が問題で、どう具体化したのかなどについて討議しています。
- ・環境班：町会の資源ごみ回収、レジ袋・ごみ袋の有料化、オゾン層の破壊などの幅広い環境問題等を話し合ったうえで、これから先にどう基本構想としてまとめていくかを討議しています。
- ・地域産業・消費班：産業振興、活性化、中野の再評価、魅力づくりとデメリットの活用、「儲かるまち」とは…などについて話しあいながら、事例をあげて検討しています。

☆第2分野では、全員で全体討議を進めてきました

第2分野に集まった約30人のみなさんは、話し合いたい分野をカードに記入して分類しました。この分類結果をもとに「幼稚園、保育園、児童館、障害児教育、子育て」「学校教育」「生涯学習」「全体（施設関連、理念）」の4つにテーマを分け、全員で順次検討していく方法で話し合いを続けました。

#### 【おもな内容】

(1)5月24日にリーダー1人・サブリーダー4人が決まりました。書記は、メンバー全員で回り持ちをすることになっています。

(2)テーマごとに話された内容

- ・「幼稚園・保育園・児童館・障害児教育・子育て」については、児童館の役割や統廃合の問題、幼児教育における区立施設の見直し、家庭だけで子育てはできないという意見などが出されました。
- ・「学校教育」については、学校統廃合、学校選択制、児童生徒の減少化、制服の問題について考えていきたいという意見が出ています。
- ・「生涯教育」については、体力づくり・スポーツの振興、趣味的な講座の必要性、学校開放の柔軟利用、図書館の開館日数の問題、図書館の民間委託について意見が出ました。
- ・「全体（施設関連、理念）」については、区が平成11年2月にまとめた「なかの子どもプラン」に掲げられている地域ネットワークのイメージ図について論議されました。「このプランはよく出来ているので、ゼロベースではなく、生かしていきたい」という意見や、「既存の子育て団体が本来の目的を失ってきている」といった意見があり、また、「NPOと区の関係を考えていくべき」等の意見も出されました。

(3)第6回目に当たる、6月後半の会議以降は、各ジャンル別ではなく、同じテーマについて複数の班に分かれて、より深い論議をしながら課題を抽出していくことになっています。

☆第3分野は、公園やNPOなど議論が広がってきています

約20人が参加している第3分野では、「10年後はこんなまちにしたい」について、まず福祉分野からイメージや意見を出し合い、その後は「保健・健康」や「地域活動」についても同様に話し合いを進めていくことにしています。

#### 【おもな内容】

(1)5月26日にリーダー1人・サブリーダー2人が決定しました。書記は、2人のメンバーが交代で務めることになっています。

(2)「10年後はこんなまちにしたい」（福祉分野）について出し合ったイメージや意見を、『子ども』『高齢者』『障害者』『その他』にジャンル分けをして、議論を深めていきました。そうした中から、「NPOやボランティアによる公園の管理を進め、区民が利用しやすく子ども達が遊べる公園にする」「第3分野にとっての公園は、高齢者が引きこもらず外にどう出ていけるようになるかがポイント。利用する視点で公園の活用を考えれば、福祉分野での提案になる」「区役所は障害者・高齢者団体へ優先的に契約を回すし

くみを確立する」「障害者も納税者になれるような、雇用促進策の推進」など、いくつかの施策提案や意見が出されています。

(3)福祉に関連して、区、NPO等、個人の区民がそれぞれ行うべきことを明らかにすべきとの意見がありました。NPO支援についても、実際にNPOにかかわっているメンバーから「杉並区は、NPO設立のときに助成金を出す。また、杉並のボランティアセンターはNPOや自主グループが予約無しに場所や情報を使える場がある。中野は、フリーに行けるたまり場がない。事務所をもつにも経費がかかるので、収益を上げないNPOは、かなりの金銭的リスクを負うことになる。設立の際に必要な最低限のものは行政がサポートすべき」との意見がありました。

#### ☆第4分野では施設配置や行財政について熱い議論も

第4分野では、約30人のメンバーが6月末までに5回の会合を重ね、「施設」「行財政」「参加」などについて議論を深めています。

#### 【おもな内容】

(1)5月17日にリーダー1人・サブリーダー2人が決定しました。書記は全員で回り持ちをすることになっています。

(2)これまでの活動では、メンバーから出された検討したい項目を「施設」「行財政」「参加」「民間活力」「組織・人」「顧客」「情報」「その他」に分類して、ワークショップ全体で討議しています。また、これに関連して、地方自治制度や、その下での中野区の状況などについて、当初の援助役としてワークショップに参加していた専門委員などから講義を受けました。今までの話し合いの中からは、多くの問題点や課題が出されています。

(3)主な検討内容は次のとおりです。

「施設」については、配置の地域的バランス、集中・分散配置の是非についての意見や、運営の効率化の工夫や、民営化で本当に経費が減らせるのかといった疑問も出されました。さらに、施設の使いやすさや施設の目的についての問題提起があったほか、施設に中野らしさがあるかどうかという視点の意見も出ました。

「行財政」については、行政サービス・財政の健全化、他区との比較、行政のサービスレベルの組み立て方、限られた財政で何にどのように取り組むのか、などの意見が出されています。

「参加」については、「住民参加は区の行政活性化の大事な要素。地域の力をどういう形で活かすか考えたい」「地域の人たちがお互いに助け合う、支えあいネットワーク」などが提案されています。

「民間活力」については、導入のメリットとして「効率的、行政の新しい役割を作る」「民間企業と比較して、行政の品質を高める」などの意見が出たほか、デメリットとして「委託先の業者が発注と受注でリンクしていた」

「プライバシー情報の保護に不安がある」等の事例紹介や意見が出されました。

このほかの項目では「今までの区職員はゼネラリストが求められていたが、これからは専門性のあるエキスパートを」（＝「組織・人」）、「お互いの助け合いをステップアップして、有能な高齢者、技術のある人を活用するために、たとえば地域通貨を活用できないか」などの意見も出ています。

(4)今後は、テーマを「協働」「行財政」「組織・人」「地域活性化」の4つに再編し、グループに分かれて議論を進めることにしています。

#### ☆分科会をつなぎ、発展させるための「調整会議」

4つの分科会の議論の進捗状況を把握し、情報交換を行いながら、来年2月の最終提案に向けて調整を図る場として、リーダー・サブリーダーによる調整会議があります。

6月16日には、初めての調整会議が行われ、各分野から合計15人のリーダーやサブリーダーのみなさんが集まりました。当日は、各分科会の状況を紹介したあと、今後の進め方や最終提案に関すること、会議の運営にあたって問題となっている点などについて意見交換を行ないました。

#### 【おもな内容】

「『統廃合と再配置』、『民営化と民間活力』など、用語の意味を共通認識して話し合いをしないと、同じ土壌で議論ができない」という意見が出ました。これに対して「区の計画などに掲載されている用語集を、活用してはどうか」「むしろ分科会の話し合いの中で、定義を明確にしながら議論を進めていくことが、最終的に提案につながるのでは」といった意見がありました。

また、「他の分科会の検討に盛り込んでほしい要望がある場合、要望書を作って交換するのか」という質問がありましたが、これについては「要望書作成は、作業的に大きな負担になる恐れがあるので、各分科会に重複して参加しているメンバーや、調整会議などを活用して伝えていきたい」との方向で一致しました。

今後、調整会議では、情報を共有しながら、スケジュールや提案書のイメージ(様式)などについても検討が行われていきます。

## ■【ひとこと解説】「指標」って？

中野区が新たにつくる基本構想は、次のような性格をもつものです。

「中野区という地域社会が基本としていく理念を示すとともに、新たな時代の変化に柔軟に対応ができ、実現可能性をふまえた将来の中野の姿が具体的に描けるようなものにする。そのため、区と区民が共通にめざすことができる中野の姿を指標などを用いて具体的に明らかにする」(「中野区基本構想」及び「(仮称)新しい中野をつくる10か年計画」策定の方針)より)

ここでいう指標とは、目印とか、ものさしのようなもので、活動の状況を簡潔に、かつ明白に表すために、定量化・数値化した情報のことです。

指標は、その内容によって、活動の結果を示す「活動指標」と、活動の結果として生み出された成果や効果を示す「成果指標」とに分けることができますが、基本構想で用いる指標は、できるだけ区民生活への成果を示す「成果指標」にしたいと思っています。それは、いうまでもなく行政活動の最終的な目標は区民福祉の向上であるため、区民の生活がどのような状況にあるのかがわかるような成果指標を設定することで、区と区民がともに目標達成に向けて歩を進めることができると考えるからです。

具体例をあげてみましょう。

「高齢者の健康づくりをすすめます」という施策について考えてみます。区は、高齢者の健康増進や介護予防のために、たとえば健康診断を行ったり、健康講座を開催したりと、さまざまな事業を区民とともに行うこととなります。その際、区が実施したり働きかけたりした結果である「健康診断受診者数」や「講座参加者数」などは、「活動指標」だといえます。

「成果指標」は、そうした働きかけや区民の努力の結果として現れた成果に着目しますので、たとえば「65歳の人々の平均自立期間(=介護保険でいう「要支援・要介護」の状態にならずに生きる期間)」や「65歳以上で自分が健康であると思う区民の割合」などが考えられるかもしれません。

もちろん、どのような指標を設定するのかは、今後の検討次第です。基本構想審議会や区民ワークショップでは、将来像の理念の明確化とあわせて、こうした指標の設定についても話し合いを行っていく予定です。

## ■最新情報コーナー

### ☆基本構想シンポジウム(第1回)

2003年7月5日(土)午後7時~9時20分、勤労福祉会館で開催します。プログラムは次のとおりです。

(1) 基調講演「今後10年を見据えた、自治体と市民のパートナーシップ」  
宮沢尚史さん（三菱総合研究所地域政策研究センター研究員）

(2) パネルディスカッション「新しい基本構想に望むもの」

パネリスト（敬称略）

武藤博己（法政大学教授・中野区基本構想審議会会長）

橋本泰子（大正大学教授・中野区基本構想審議会副会長）

宮沢尚史（基調講演講師）

田中大輔（中野区長）

※事前申込み制です。ご参加希望の方は、お早めに電話かファクシミリで  
氏名・住所・電話番号をお知らせください。手話通訳があります。一時保  
育の受付は、6月27日に締め切りしましたのでご了承ください。

なお、シンポジウムの内容は、次号でみなさまにお知らせする予定です。

■傍聴案内（どなたでも傍聴ができます）

☆7月の基本構想審議会

7月23日(水)午後7時から9時まで、勤労福祉会館（中野駅南口から徒歩  
5分）で。「新しい自治のあり方」について審議を行う予定です。

恐縮ですが、お車でのご来場はご遠慮ください。

☆7月の区民ワークショップ

(1) 第1分野「持続可能な活力あるまちづくり」

7月5日(土)午前10時から正午まで、区役所・9階 第11、12会議室で。

7月15日(火)午後7時から9時まで、区役所・9階 第11、12会議室で。

(2) 第2分野「自立してともに成長する人づくり」

7月8日(火)午後7時から9時まで、勤労福祉会館・3階 大会議室で。

7月26日(土)午前10時から正午まで、区役所・9階 第11、12会議室で。

(3) 第3分野「支えあい安心して暮らせるまち」

7月12日(土)午前10時から正午まで、区役所・7階 第3会議室で。

7月28日(月)午後7時から9時まで、区役所・7階 第3会議室で。

(4) 第4分野「新しい自治のあり方」

7月1日(火)午後7時から9時まで、勤労福祉会館・3階 大会議室で。

7月19日(土)午前10時から正午まで、区役所・9階 第11、12会議室で。

(5) リーダー・サブリーダーによる調整会議

7月24日(木)午後7時から9時まで、区役所・7階 第3会議室で。

■編集後記

梅雨の季節は、何となく気分が沈むもの。この時期に心晴れやかに過ごすた  
め、みなさんはどのような工夫をなさっていらっしゃいますか。

小子がやっているのは、こういうことなのですが…

(1) テーブルの一輪挿しに花を飾る（できれば紫陽花などを）

(2) 暖かい麦茶を作って飲む

(3) ストレッチをして手足をよ〜く伸ばす

(4) 区民ワークショップに参加する（！）

…実は、区民ワークショップの会合に事務局として参加させていただいた直後  
は、いつも元気をいただいた気分で、高揚感があるのです。活発な議論や、テ  
ーマに寄せるみなさんの熱意に触発されるからでしょうか。

今回は、そのワークショップの活動についてご紹介しました。メンバーのみ  
なさんの熱気と会議の臨場感を、多少なりともお伝えできたでしょうか…？

ご感想やご意見をお待ちしております。（^/）

※アドレスの変更、配信中止のご連絡も下記アドレスへどうぞ。  
kihonkoso@city.tokyo-nakano.lg.jp